

金山小歌会始で6年生が発表

思いのこもった歌がずらり

1月10日、5回目となる金山小歌会始が行われ、金山小学校の6年生が工夫を凝らした歌を発表しました。今年も学校生活の思い出などを歌った小学生らしい作品が勢ぞろい。佳作に選ばれた笹原拓巳くん(羽場)の短歌は卒業がテーマ。「中学生になるのが楽しみで、ワクワクする気持ちを歌にした。卒業まであと少しだけど、大切に過ぎていきたい」と少し照れながら喜びを語っていました。



▲心のこもった短歌をひとりずつ発表。6作品が佳作に選定

みすぎ荘で鏡開き・お歳灯

昔ながらの行事で今年の安寧を

1月10日、特別養護老人ホームみすぎ荘で鏡開き・お歳灯が行われ、今年一年の安寧を祈りました。恒例につき年女である梁瀬トモ子さんと笹原ミチ子さんが鏡開き。威勢よく鏡もちが開かれた後、ホールからすぐ見えるところに設置したお歳灯に点火。利用者の皆さんは、みかんなどを食べながら、新年を迎えた喜びを祝い、ますますの長寿を願っていました。



▲鏡開きでは年女2人の方に岸理事長と阿部施設長が手を添えた

▼伝統の演目「金巻」「獅子舞」に150名の観客が息を飲んだ



イオンモール天童で稲沢番楽が公演 若者も足を止め、その演舞に見入る

1月12日にイオンモール天童で行われた「新春伝承芸能フェスティバル～継承する若者たちと、地域社会～」の舞台上、稲沢番楽保存会の皆さんが出演されました。小沼直文会長は「これを機に興味を持ってもらえたら幸い」と話し、迫力ある演舞を披露。ショッピング中の若者も足を止め、見入っていました。これは、エフエム山形が主催したもので、公演の様子はラジオ放送されました。

▼新年を迎え、気持ちも新たに姿勢を正して筆を運ぶ皆さん



町内小学校で書き初め大会 堂々とした筆運び、真剣に

正月明けの1月上旬、新春恒例の書き初め大会が町内各小学校で開催され、児童らは真剣な表情で筆を動かし、立派な書をしたためていました。明安小学校5年生の課題は「新春の光」。梁瀬董さんは「練習の成果が出せて、一番よい作品ができた」と満足した様子でにっこり。続けて「今の6年生のよいところをたくさんまねして、来年に生かしたい」と力強く新年の目標を話してくれました。



1_ゴール前の接戦 2_男子クラシカル2位の星川怜桜選手(3年) 3_男子リレーメンバー 4_大場顕真選手(2年)は男子フリーで2位に 5_選手と関係者らで記念撮影

有屋小でなしだんご作り

今年1年を幸せに過ごせますように

1月15日、有屋小学校の1・2年生が、地域の方々と一緒に「なしだんご作り」に挑戦しました。なしだんごは小正月の伝統行事で、有屋小では2年前から実施。初めて作ったという1年生の柴田紗来さんは「楽しくきれいに飾ることができた」と笑顔で話していました。学校の玄関ホールにしばらく飾られたなしだんごは、その後あられに。児童の皆さんは1年の幸せを願いながら取り組みました。



▲紅白のだんごや手作りの飾り物をミズキに飾り付けた

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

金山中スキー部が今季も躍進 町出身の高校生選手も大活躍!

1月に行われた第59回山形県中学校総合体育スキー競技大会において、金山中スキー部が今季も躍進しました。クロカン個人競技では、男女あわせて10もの入賞を獲得したほか、リレー競技では男子チームが3連覇を達成。アルペン競技でも、上位に入賞を果たしました。また、同日程で行われた県高校スキー大会においても、金山中出身の選手が優勝するなど大活躍がみられました。

▼主催した金山スポ少クロスカントリー部の皆さん



リレーに限定したスキー大会を初開催 金山スポ少クロカンスキー部育成会が企画

第1回SHK杯クロスカントリースキーリレープリント大会が1月19日、神室スキー場で開催されました。金山スポ少クロスカントリースキー部育成会(柿崎尚弥会長)が、競技力向上や交流促進を目指して初企画。町内のスポ少から出場した約60人が、低学年と高学年ごとに4人1組のチームを作り、不足している雪をかき集めて完成した特設コースで熱気あふれるレースが繰り広げました。